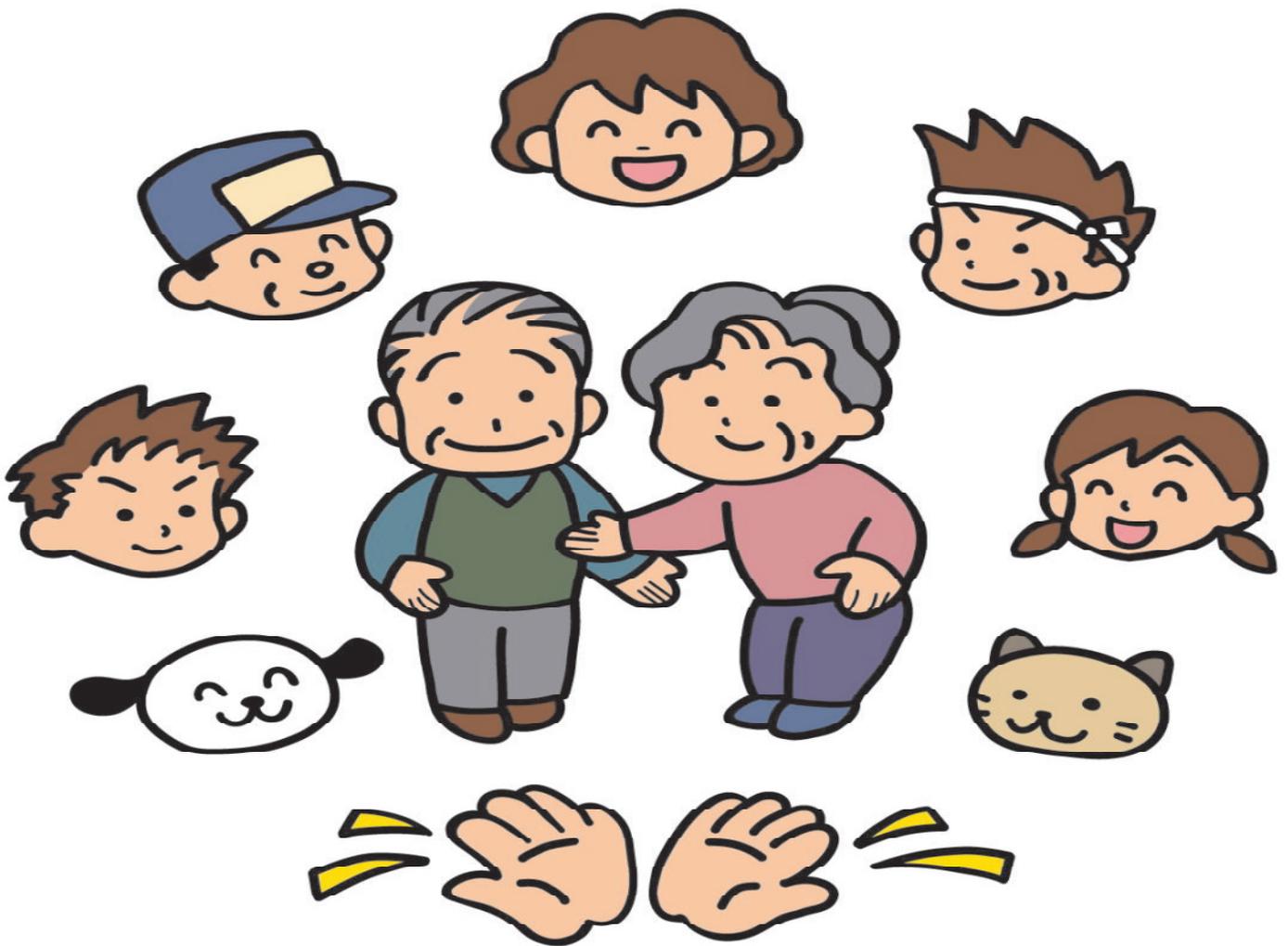


高齢者のための 防犯ブック

～犯罪被害に遭わないために～



みんなの手でつくる、安全・安心のまち

宮城県警察

高 齢 者 の 皆 様 へ

この「高齢者のための防犯ブック」は、高齢者の皆様が日常生活の中で被害に遭いやすい犯罪に関して、その対策を載せたものです。

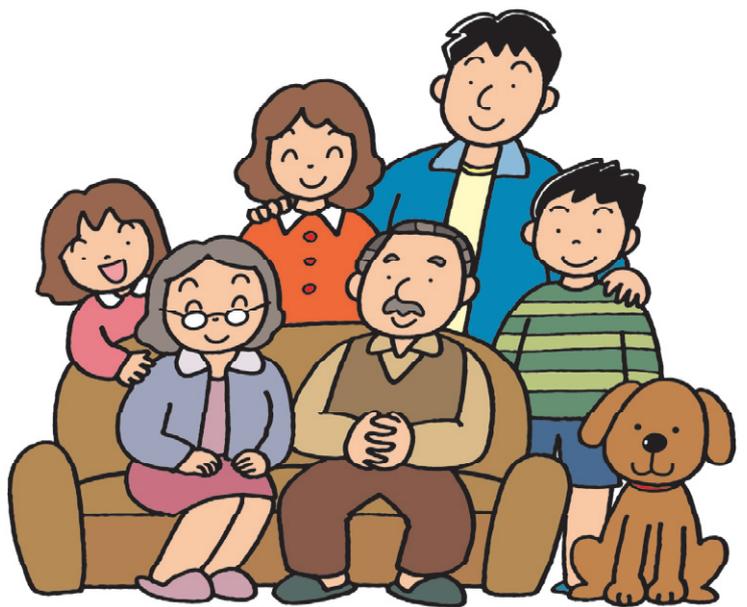
防犯ブックを参考にさせていただき、一人ひとりが防犯意識を高く持ち、犯罪被害に遭わないように心掛け、安全・安心なまちづくりを目指しましょう。



目次

ページ

- 1 住宅に対する侵入犯罪に遭わないために ……………1
- 2 乗り物に絡む犯罪被害に遭わないために ……………3
- 3 振り込め詐欺被害に遭わないために ……………5
- 4 利殖商法被害に遭わないために……………8
- 5 悪質商法被害に遭わないために ……………11
- 6 みんなで守る地域コミュニティ ……………13



1 住宅に対する侵入犯罪に遭わないために

住宅に対する侵入犯罪には次のような手口があります。



○ 空き巣（不在時に）

「空き巣」とは、家人が留守中の家内に入り込み、現金や物品を盗む手口で、住居に対する侵入犯罪の中で、最も多い手口です。



空き巣注意

○ 忍び込み（就寝時に）

「忍び込み」とは、家人が就寝時に、家人に気付かれないように家内に入り込み現金や物品を盗む手口ですが、家人に発見された場合に、強盗に及ぶこともあります。



○ 居空き（在宅中に）

「居空き」とは、家人が食事をしている時やテレビを見ているスキに家内に入り込み、家人が在宅中にもかかわらず現金物品を盗む手口です。



どろぼうに気をつけよう

住まいの防犯

カギかけ声かけ忘れずに!



ドロボーはこんなことを嫌がります!

侵入に時間がかかるとあきらめる
～自宅には確実に鍵を掛けましょう～

ドロボーは侵入するのに時間がかかる家を嫌がるので、次のことに気を付けましょう。

- 短時間の外出でも確実に戸締まりを行う
- 1つのドアに2個以上の鍵を取り付ける
- 合い鍵をポストや植木の下などに置かない



人目につきやすい家をいやがる
～ご近所付き合いでドロボーを撃退しましょう～

ドロボーは人に見られることを嫌がるので、次のことを行いましょう。

- 近所付き合いを密にして、外出時には一声かける
- 自宅周辺の植栽を刈り込み、見通しをよくする



泥棒は音をいやがる
泥棒は光をいやがる

～防犯設備の設置～

ドロボーは音や光をいやがるので、次の防犯対策をしましょう。

- センサーライトを設置する
- センサー式防犯ベルを設置する
- 夜間門灯を点灯して明るくする



2 乗り物に絡む犯罪被害に遭わないために

乗り物盗

被害に遭わないために

自動車や自転車は生活必需品ですが、それだけに自動車や自転車が盗まれる「乗り物盗」被害は被害に遭いやすい犯罪の一つなので、次のことに気を付けて、被害に遭わないようにしましょう。

～自動車盗被害に遭わないためのポイント～

- 短時間でも車を離れる時には、必ず鍵を掛ける
- 警報装置などの防犯装置を付けておく



盗難防止

～自転車盗・バイク盗被害に遭わないためのポイント～

- 駐輪する際には確実に鍵をかける
- 2つ以上の鍵を掛ける(ツーロック)
- 定められた駐輪場に駐輪する



注意

「鍵を掛けていない場合」や「鍵を付けたままの場合」に被害が多いので、必ず鍵を掛ける習慣をつけましょう。

※自宅敷地内からの盗難被害が多いんです。

防犯登録をしておけば、万一被害に遭った場合にも、早期に返還される可能性が高くなります。



車上ねらい

被害に遭わないために

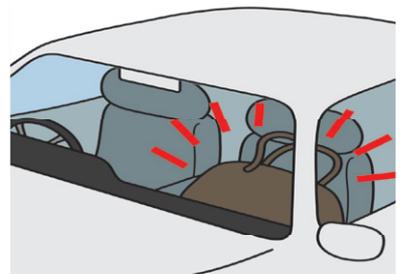
自動車内や自転車、バイクの前カゴなどに現金や貴重品を置いておくと、車上ねらいの被害に遭う可能性があります。

犯罪の手口と予防策

～自動車に対する車上ねらいの予防策～

- 車上ねらいの犯人は、バッグや貴重品が置かれた自動車をねらうので、バッグや貴重品を車外から見える位置に置かないようにする
- 自動車を離れる時にはドアに鍵を掛け、窓も完全に閉める

防犯対策



～自転車・バイクに対する車上ねらいの予防策～

- 自転車やバイクの前カゴにバッグや貴重品を置いたままの状態、自転車やバイクのそばを離れないようにする
- 貴重品は、常に持ち歩くようにする

前カゴに注意!



自己防衛

ちょっとした油断が被害につながるので、気を付けましょう。

③ 振り込め詐欺被害に遭わないために

振り込め詐欺にご注意!

「自分は絶対に大丈夫」と思っている人でも、だまされることがあります。振り込め詐欺には、次のような手口があるので、注意しましょう。



ねらわれていきます!

～振り込め詐欺の4つの手口と予防策について～

1 オレオレ詐欺



電話などで家族の名前を名乗ったり、「オレ、オレだよ」と身内を装ったりしながら、「会社の金を横領したので、それを返さないと逮捕される」「事故の示談金が急に必要になった」などと言い、言葉巧みに現金を振り込ませようとする手口。家族ではなく弁護士や警察官を名乗ったり、複数で成りすます手口もある。

オレオレ詐欺の予防対策

～まずは冷静に～

- 「電話番号が変わった」という連絡は詐欺です
- 相手に名前を名乗らせる
- 本人しか知らないことを聞いてみる
- 電話を切った後に、以前の電話番号に電話してみる
- 振り込む前に家族や警察に相談する



※ 家族を装い「チカンで捕まったので示談金が必要だ」などと知人や警察に相談しにくいと感じさせる内容の電話をかけてくることもあります。

2 架空請求詐欺



「最終通告」などと記載された、身に覚えのない使用料金の支払いを求めるはがきやメールなどを不特定多数の人に送り、不安になった人から現金を振り込ませる手口。

架空請求詐欺の予防対策

～身に覚えのない請求については警察に相談して下さい～

- 架空請求は不安につけ込んで現金を振り込ませる手口なので、身に覚えのない請求は警察に相談する



3 融資保証金詐欺

低金利の融資話を持ちかけて、話を信じた人から保証金などの名目で現金を振り込ませる手口。

また、多重債務者には、債務の一本化を持ちかけ、現金をだまし取ろうとします。



融資保証金詐欺の予防対策

～不審に思ったら確認する～

- 怪しいと思ったら、すぐに振り込まずに、正規に貸金業の登録している業者か確認する

怪しいと感じたら、すぐに振り込まずにまずは確認しましょう。
振り込んでしまった現金は、戻って来ません。



4 還付金詐欺

自治体職員や社会保険庁職員、警察官などを装い、「年金の差額分をお支払いします」「医療費の還付金があります」「あなたの口座が犯罪に使われていました」などと言って、ATMを操作させ、指定の口座に現金を振り込ませる手口。



還付金詐欺の予防対策

～行政機関はATMの操作を求めない～

- 相手の所属や氏名、連絡先などを確認する
- 事実かどうか該当する行政機関に確認する
- ATMの操作を求めてきたら詐欺と疑う
- 「キャッシュカードや通帳を預かる」と言ってきたら詐欺と疑う



振り込め詐欺の手口はより複雑になり、巧妙になっています。不審に思ったら、すぐに相談して下さい。



振り込め詐欺に注意!

4 利殖商法被害に遭わないために

甘い誘惑に注意！

利殖商法とは、「高配当間違いなし」「必ず儲かります」などと「儲け話」になることを強調して、未公開株、社債、商品相場、外国通貨などの購入を勧めたり、事業に関する投資を求めたりして現金をだまし取る手口です。



～利殖商法の手口について～

利殖商法には様々な手口があるので注意しましょう。

ファンド投資型商法

- ファンド投資型商法とは、出資者から資金を募集し、その資金を元手に新たな事業を行うと勧誘して、現金をだまし取る手口。
「元本保証」「高配当」などと勧誘するものの、実際には事業実態はなく、業者とも連絡が取れなくなり、投資した資金は戻らなくなります。
- ※ 外国の土地の使用権についての投資外国の養殖産業への投資など



怪しい社債

- 「銀行に預金するよりも儲かります」「元本保証の高配当です」などと、よくわからない会社の社債の購入を勧める手口。一例として配当金らしく一時的に少額が支払われることもありますが、その後、支払われなくなり、会社や社債購入の仲介者とも連絡が取れなくなります。
- ※ 異常に高配当をうたう社債には注意すること



未公開株

- 「あなたにだけに教えます」「上場すると株価が上がります」などと、未公開株の購入を勧めてくるが、実際に未公開株を購入しても上場せず、業者とも連絡が取れなくなる手口。
- ※ 未公開株は上場されない場合には、売買が非常に困難であり、購入しても換金する方法がありません



外国通貨の換金

- 換金性の乏しい国の通貨を「将来換金率が上がります」「外国通貨の貨幣価値が20倍から30倍に上がる」「希望すれば、すぐに円に両替します」などと持ちかけ、外国通貨を勧める手口。
- 換金しようとしても、業者と連絡が取れなくなる。
- ※ 「紛争地域の政情が安定すれば、貨幣価値が上がります」などと勧誘してきます



商品相場

- 「必ず儲かります」などと商品の先物取引を持ちかけてきますが、いずれもハイリスクな取引で、投資する側から資金をだまし取る手口。
- ※ 商品先物取引とは、商品を将来売買することを約束して、その商品の価格を現時点であらかじめ決める取引です



ここで説明した手口以外にも、利殖商法には様々な手口があります。
おかしい(もうかる)と思ったら、すぐに相談しましょう。

利殖商法被害に遭わないための予防策

利殖商法被害に遭わないために、
次のことを心掛けましょう



～うまい話にはウラがあります～

注意!

- 「必ず儲かる」といううまい話はありません
- あいまいな返事をする、断れなくなってしまう
すはっきりと断りましょう
- 内容が理解できなければ絶対に契約してはいけません
- 「プロが言うことだから大丈夫」だろうと思ってはいけません
- 登録届出業者でも安易に信用してはいけません
- 不審に思ったら、まずは相談しましょう



「必ず儲かる」「絶対に損はしない」
という話は詐欺!!



危機

管理

をしっかりとしましょう!

5 悪質商法被害に遭わないために

～高齢者の方の貯金や生活費をだまし取ろうとする悪質業者に注意～

悪質商法の手口について

催眠商法

- 催眠商法とは、「無料で商品を差し上げます」などと言って会場に人を集め、最初に日用品を配り人を興奮状態にして、いつの間にか高額な布団や健康器具などを買わせる手口。
- ※ 「新製品普及会」という業者が始めて行った手口なので、頭文字を取ってSF商法とも言います



不安つけ込み商法

- 親切な振りをして人の不安につけ込み、不安感をおり立て、不必要な高額商品を買わせる手口。
- ※ 「1人暮らしは不用心だからこの商品が必要です」などと言って、親切な振りをして高額商品の購入を勧めてきます



送りつけ商法

- 契約をしていないにもかかわらず、カニなどの商品を送りつけ、代金を請求する手口。
- ※ 代金については支払う必要はなく、商品を受け取った日から14日間経過すれば、商品を処分しても問題ありません
しかし、14日間が経過する前に商品を使用したりすると、購入を承諾したものとみなされますので注意してください



悪質商法被害の撃退方法!

注意!!



高齢者の方は日中に1人で家に居ることも多いので、強引に商品売りつけてきたりする業者もいます。悪質業者はあの手この手で大切なお金を騙し取ろうとするので、次のことに気を付けましょう。

悪質商法対策のポイント

○ 不審な業者は玄関の内側に入れない

訪問販売などの業者は、一度家の玄関内に入れると、なかなか帰ろうとしません。

対応は、出来るだけインターホン越しに行き、ドアを開けるときは必ずドアチェーンを掛けたまま対応しましょう。

○ すぐに契約しない

悪質業者はすぐに契約を迫ってくるので、その場では契約せずに、まずは家族や警察に相談しましょう。

契約を急がせる業者は、悪質業者と疑いましょう。

○ はっきりと断る

「結構です」「いいです」などとあいまいな返事をせずに、はっきりと「いません」「必要ありません」と断りましょう。



クーリング・オフ制度について

~もしも、契約してしまったら~

もしも、悪質業者と契約してしまった場合でも、すぐにあきらめる必要はありません。

一定期間内であれば、「クーリング・オフ制度」により、契約を解除できる場合があるので、すぐに消費生活センターや警察に相談しましょう。

6 みんなで守る地域コミュニティ

～ちょっと一服～

安全・安心な地域コミュニティをつくる為には、高齢者の方の力が欠かせません。

積極的に隣近所の方と交流して、地域コミュニティの絆を深めましょう。



コミュニティスペースの有効活用 ～お茶会を開催しましょう～

家に引きこもりがちだと、人と話をする機会が少なくなります。

「朝茶は七里帰っても飲め」ということわざがあるくらい、昔から健康のためにも面倒がらずに飲んだほうが良いとされていますが、お茶は人と人との交流を図るための潤滑油にもなります。

集会場などのコミュニティスペースを活用して、**「お茶っこしませんか」**とお互いに声を掛け合うことが、地域の防犯活動にもつながります。

健やかな毎日を送るために

～まめ知識～

年齢を重ねるごとに、身体に対する日々の負担は大きくなり、体力が低下したり、病気にかかり易くなります。

健康づくりのために、バランスの良い食事と適度な運動を心掛けましょう。



バランスの良い食事を

- 緑黄色野菜にはビタミンAが多く含まれており、ビタミンAが不足すると、夜盲症や角質硬化の原因となります。
- 体力を維持するためには、たんぱく質が必要です。
- 骨粗しょう症にならないためには、骨を作るカルシウムを多く含む、牛乳やヨーグルトなどの乳製品を摂るようにしましょう。

健康の為に適度な運動を

- 自分の体力に応じた適度な運動を続けると、心臓や肺の機能が高まり、血液循環が良くなります。
- 運動をすると脳が刺激されるので、認知症対策につながります。
- 無理をせず、継続して続けることが重要です。



終 わ り に

高齢者の方が犯罪被害に遭わないためには、高齢者の方一人ひとりが防犯意識を高く持つとともに、地域住民の方々が一致団結して防犯活動に取り組むことが大切です。

様々な年齢層の方が協力し合い、手を取り合って、犯罪のない、安全・安心のまちを作りましょう。





～防犯は日々の積み重ね～

